



■産技能五輪・アビリンピックあいち大会2014



平成26年11月21日に**第35回全国障がい者技能競技大会(全国アビリンピック)**の開会式が盛大に開催されました。JR稻沢駅での県政報告街宣後会場に到着しましたが、会場はすでに満員で熱気に溢れています。競技を通して障がい者の職業能力に対する社会の理解を深め雇用促進につながることを目的にしています。過去最多の選手の皆さんが24種目の競技に臨み、愛知県選手団はメダル獲得17個と最高の成績で二年連続優勝しました。

続いて11月28日に開会した**第52回技能五輪全国大会**は、41種目の競技に全国から23歳以下の1,200人を超える若者が挑戦しました。日本のものづくりを担う青年技能者の技能レベル向上と技能の大切さをアピールすることを目的にしています。稻沢からは、日本料理に京風料理与し田さんの池戸君(銀メダル獲得!)が、造園に県立稻沢高校のタナカさん(選手宣誓)と服部君(会場で握手)のコンビが出場しました。選手団、来場者とも過去最大の大会の中、ものづくりの愛知県は選手団の総力、圧倒的な強さで見事**10連覇!**を果たしました。また、選抜された選手は2015年8月のブラジル・サンパウロで行われる第43回技能五輪国際大会に挑戦します。

大選手団の中で服部君を発見●



●Nation Skills Competition 2014AICHI サンバの歓迎



●知事歓迎の挨拶、タナカ選手たちの選手宣誓・花束贈呈



●日本料理・西洋料理の競技会場のニチエイ調理専門学校を訪問



●表彰式では清らかな感激の「涙」が印象的でした、銀賞の池戸君 (写真は名古屋競輪の場外車券発売場のサテライト名古屋)

アビリンピック競技種目(24)

洋裁 家具 DTP 機械CAD
建築CAD 電子機器組立 電子回路接続 義肢 歯科技工
ワード・プロセッサ データベース ホームページ パソコン組立
フラワー・アレンジメント コンピュータプログラミング ビルクリーニング 製品パッキング
パソコン操作 パソコンデータ入力 縫製 木工 喫茶サービス オフィスアシスタント 表計算

技能五輪競技種目(41)

【機械系】

機械組立て 抜き型 精密機械
組立て 機械製図 旋盤 フライス盤 木型 自動車工

【金属系】

構造物鉄工 電気溶接 自動車板金 曲げ板金 車体塗装

【電子技術系】

メカトロニクス 電子機器組立て
電工 工場電気設備

【建設・建築系】

タイル張り 配管 石工 左官
家具 建具 建築大工 造園 冷凍空調技術 とび

【サービス・ファッショ系】

貴金属装身具 フラワー装飾
美容 理容 洋裁 洋菓子製造
西洋料理 和裁 日本料理 レストランサービス 時計修理

【情報通信系】

ITネットワークシステム管理 情報
ネットワーク施工 ウェブデザイン

■産業労働委員会県外調査

住友生命保険相互会社でのワーク・ライフ・バランスの取組では男性育休取得推進に人事室長が所属長に勧奨の電話をし効果を上げていました。関東経済産業局(静岡まで1都10県を管轄)では東京オリンピック活用地域活性化戦略プラン、連携を核とした地域活性化の取組について説明聴取し、本県が次世代産業と位置付けるロボット産業では来年創業百周年の安川電機関東ロボットセンターで説明聴取しました。(表紙写真)

■競輪事業活性化特別委員会

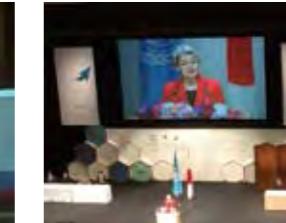
千葉県と船橋市が主催する船橋オートレースが2015年度に廃止を決定したことを例に、一般会計への繰出し金及び施設などの老朽化について質問し、廃止となった一宮競輪の場外車券上の収益や従業員の雇用問題について現状の確認と今後への要望をしました。

■持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議 ESD

平成26年11月10日 持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議が開会、ESDの10年の最終年の成果とこれからの課題を確認する世界会議です。愛知県として2005年の愛・地球博、2010年の生物多様性条約締約国会議(COP10)につづく環境首都あいちを目指しての取組です。12日の最終日には、気候変動や生物多様性の保持、防災など世界的な課題に対し、全ての国がESDを促進する必要性を強調し、優れた事例に奨励金を与える「ユネスコ日本ESD賞」の創設を評価する「あいち・なごや宣言」を採択し閉会しました。



国際会議場への日比野駅にはESDのポスターが掲示されていました。下村文部科学大臣からの案内で世界会議開会全体会合に出席しました。開会前の会場で森岡副知事と記念撮影。オープニングは野村萬斎さんほか狂言の歓迎と世界の子供達からのメッセージです。



続いて皇太子殿下、雅子妃殿下ご臨席のもと、イリーナ・ボコバユネスコ事務局長の感動的な式辞(恒久平和&持続可能な開発:グリーン社会、グリーン経済と環境のための意識変革=教育)のち、皇太子殿下からESDの取組に対するねぎらいと期待の言葉をいただきました。下村文科大臣はESDの取組に対し奨励金を贈る「ユネスコ日本ESD賞」の創設を明らかにされ、大村知事の歓迎の挨拶などが行われました。

次に川井郁子さんのバイオリン演奏などの後、パネルディスカッションと閣僚級のスピーチなどが行われ会議が本格的にスタートしました。シンクグローバリー・アクトローカリー、教育がソルーション(解決)、市民社会のコミットメント(関わり責任)などこれまでの活動からの報告がされました。

世界会議開会全体会合の後、7月から取組んできた**ESDあいち・なごや子ども会議**の発表の準備を終えてお昼時間の元気な子供達とパネル展示を見学しました。参加校は小学校44校、中学校21校の狭き門でしたが稻沢からは**三宅小学校**が参加しています。「問題の原因は人間だけ解決するのも人間」という子どもたちのメッセージに応えなければなりません。

イベント会場にはトヨタの燃料電池車FCVやMRJの展示、各国・団体の興味深いブースがあり見学しました。また、屋外会場には稻沢のユニーさんもブースを設置していました。愛知県主催のレセプションでは拙い英語ですがユネスコ事務局長のイリーナ・ボコバ女史と笑談する機会を得ました。

